

助成受給団体名	ふりがな かほくちくぼうはんきょうかいはんごうかい 河北地区防犯協会連合会
事業の名称	自主防犯活動の推進
実施期間	平成25年 8月 1日～平成26年 2月28日
実施した事業の内容（200字以上500字以内に収めてください。）	
<p>1 仮設住宅23箇所横のぼりを掲出、見せる防犯運動に努めた。</p> <p>2 「はがきで送る防犯メッセージ」を募集、小学生、高校生、一般から150枚ほどのメッセージが集まり、全国地域安全運動期間中には、管内の大型店に掲示、広報活動に努めた。</p> <p>3 全国地域安全運動（10/11～20）、年末年始特別警戒期間（12/14～1/7）における各種広報活動として、仮設住宅の各戸訪問、大型スーパー、道の駅でのキャンペーンを実施した。</p> <p>4 毎月15日、特殊詐欺被害抑止強化日となっていることから金融機関店舗前においてキャンペーン活動を実施した。</p> <p>5 地域防犯サポーターが年間を通じて仮設住宅敷地内を巡回し、仮設住宅の安全・安心に努めた。</p> <p>6 仮設住宅における自主防犯パトロール隊の設立を推進し、6団体を設立した。パトロール隊に対し、防犯グッズとして防犯ベスト、懐中電灯、サインライトを贈呈した。</p>	
事業の成果（200字以上400字以内に収めてください。）	
<p>当地区には22箇所の仮設住宅があり、平成25年12月末現在1,377戸、3,070人が生活している。（1箇所は平成25年9月末で閉鎖となった。）</p> <p>仮設住宅において住民が立ち上げた自主防犯パトロール隊が揃いの防犯ベストを着用し、懐中電灯やサインライトを活用したパトロール活動を実施することにより見せる防犯広報を実施できた。更に、仮設住宅の戸別訪問の実施、大型店舗前におけるキャンペーン活動を展開することにより、地域住民に対する広報活動を実施できた。</p> <p>その結果、仮設住宅における刑法犯の発生状況は、平成24年中24件であったのに対し、平成25年については13件と半減しており、住民による自主防犯活動を推進した成果があったと認められる。</p>	
今後の課題	
<p>長引く避難生活におけるストレスが原因と考えられる近隣住民とのトラブルが増加していることから、住民の笑顔を取り戻すための取り組みを推進すると共に、住民による自主防犯活動を充実させるため、継続したパトロール隊やボランティア隊に対する支援を行うことが必要である。</p>	



地区内小中高校生からの防犯メッセージの募集及び、管内スーパーへの掲示の様子・10月



自主防犯パトロール隊によるパトロール活動の様子・8月